

第3回 鳥取駅周辺リ・デザイン会議資料

令和6年1月16日

1. 鳥取駅周辺再整備のビジョン・位置づけについて P1 - P3
2. 鳥取駅周辺再整備の基本方針・イメージについて P4 - P13
3. 今後のスケジュールについて P14

目指す将来像

次の50年へ。未来創造ステーション

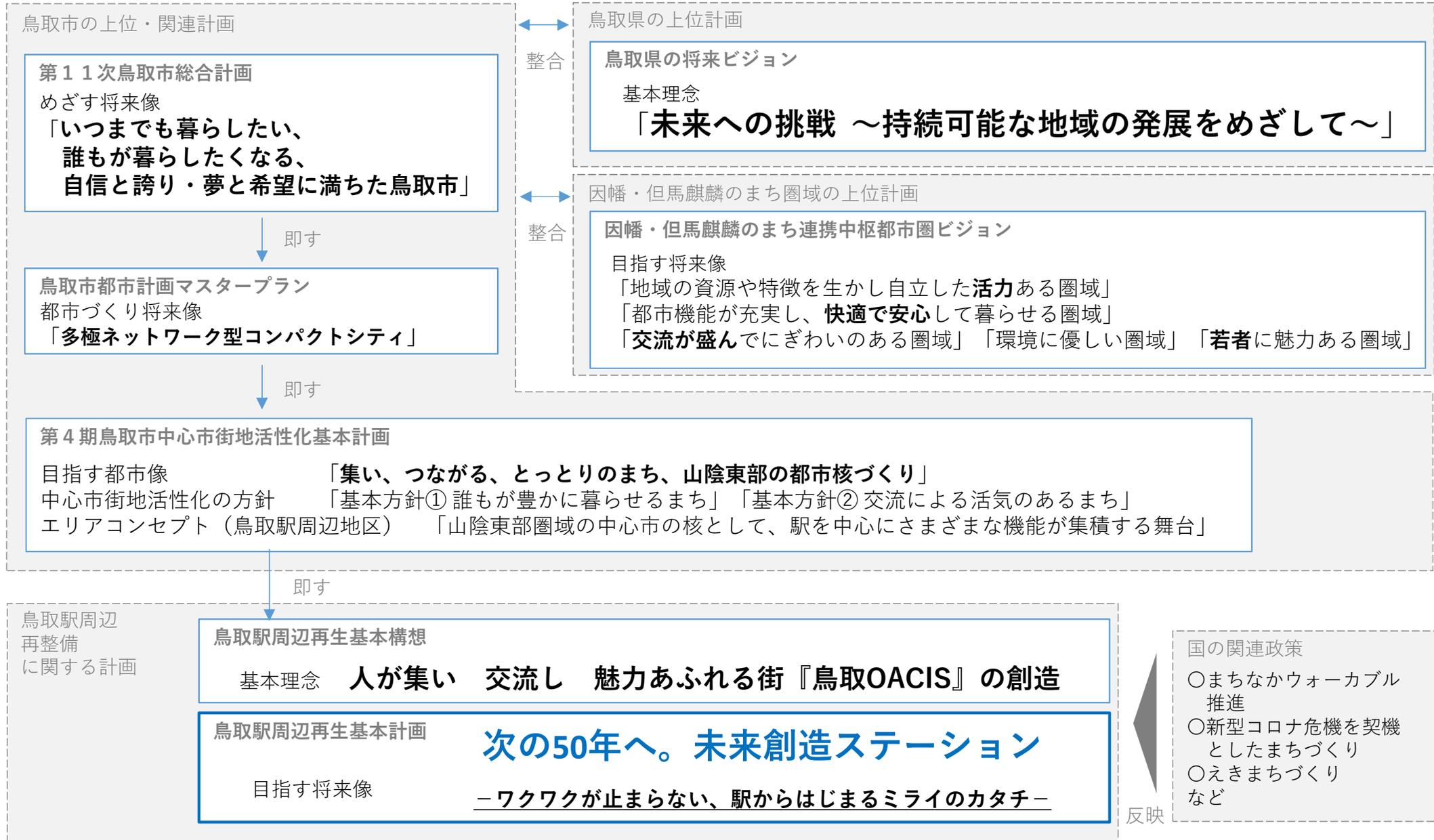
-ワクワクが止まらない、駅からはじまるミライのカタチ-

ことば	ことばの意味・込めた思い
次の50年へ	今を生きる我々が、次の50年へと繋ぐ架け橋となり、感動に満ちた輝かしい未来を描き、その礎となる中心拠点を創り上げる。
未来創造	産官学金が連携し、新しいライフスタイルと多様な人々の交流の場を築き、未来をリードする人材を育む好循環な環境を形成し、鳥取の未来、山陰の未来、日本の未来を創造する。
ステーション	多様な機能が融合し、人・情報・ビジネスが日々交錯し、革新的なイノベーションが活発に起こる、輝かしい未来を築く創造拠点。

1-(2) まちづくりにおける鳥取駅周辺再整備の位置づけ

○鳥取駅周辺再整備においては、鳥取県や鳥取市などの上位・関連計画で目指すまちづくりの方向性と整合・連携を図りつつ、次年度以降、地元関係団体、市民のニーズを聞きながら取組を検討する。

2



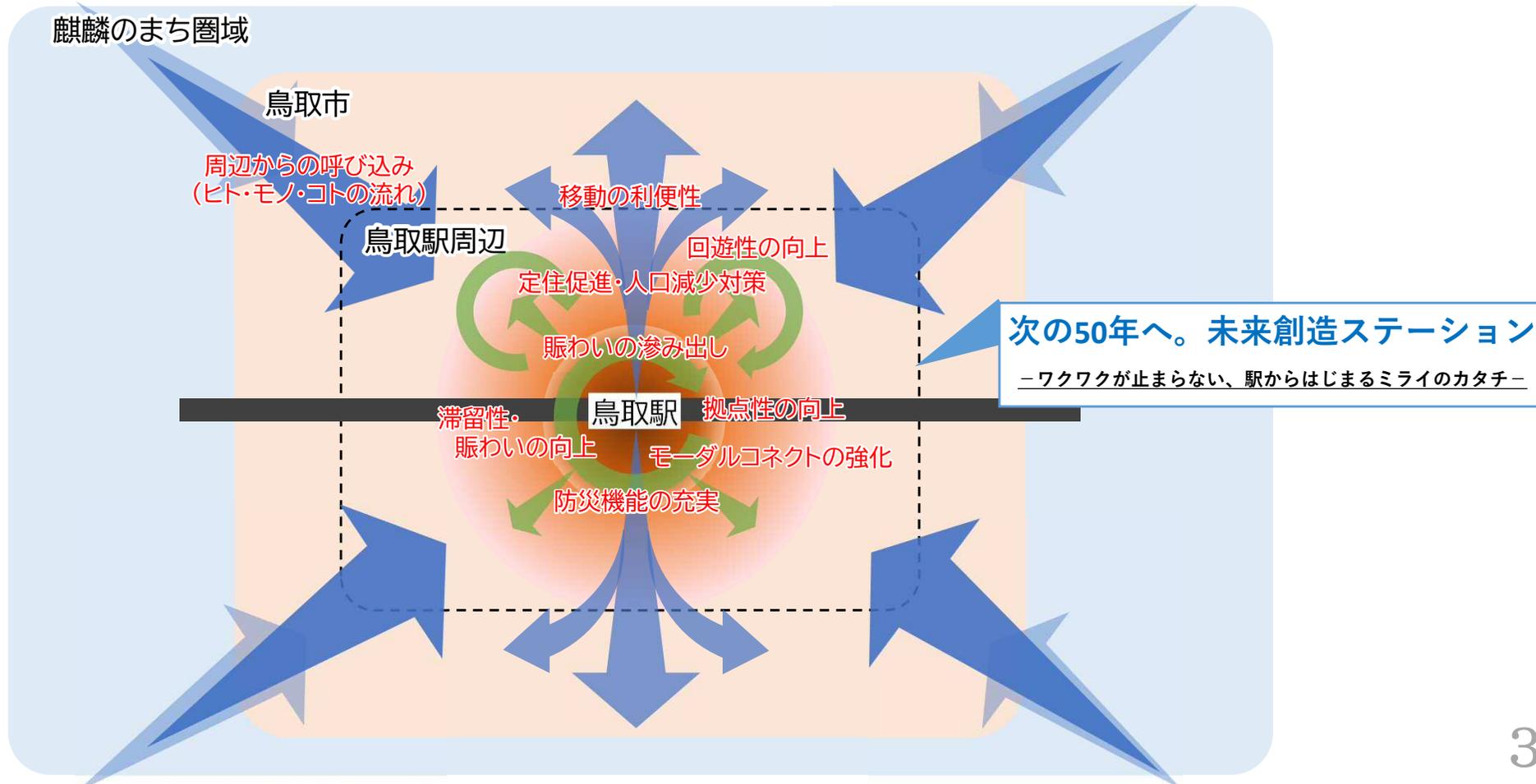
1-(2) まちづくりにおける鳥取駅周辺再整備の位置づけ

- 麒麟のまち圏域や鳥取市の交通・交流の拠点として、ヒト・モノ・コトの流れが集積し、魅力ある鳥取駅で様々な交流を生み、駅周辺に賑わいが滲み出る空間の整備を進めることで、鳥取に住みたいと思う若者を増やし、人口減少に歯止めをかける。
- 鳥取駅での回遊性・滞留性を高めるための交通ターミナルの再編、広場等の滞在空間の創出、魅力ある複合施設の整備により、駅周辺を巻き込んだ一体的なまちづくりに取り組む。

基本理念

人が集い 交流し 魅力あふれる街『鳥取OACIS』の創造

駅周辺地区では、**広域交通の起点 (Origin)** として**魅力的 (Attractive)** で人々が集い、**交流 (Communication)** が進み、また新時代に対応した**各種情報 (Information)** がますます集積する、**持続可能 (Sustainable)** なまちづくりを目指します。



2-(1) 備えるべき機能・施設について

○課題解決に向けて、必要な施設・機能とそれを利用するターゲットを想定し、具体的な施策案を検討する。

課題解決の
方向性

モーダルコネクトの
強化

魅力的な賑わい創出の
拠点づくり

駅周辺の回遊性・滞留
性の向上

産・学・官・金の連携
による事業推進

防災機能の充実

赤字（表中）：第2回リ・デザイン会議を踏まえた追記事項

鳥取駅周辺再生に必要な施設及び機能の例			ターゲット	具体的な施策案(ハード・ソフト)		
①施設配置	②-1.機能(大分類)	②-2.機能(細分)				
1.交通ターミナル	バス・タクシー	交通結節・ターミナル機能	バスの乗降機能	公共交通利用者 // //	バスターミナル・交通広場の再編 (※出入部の円滑性・安全性への留意) 待合環境、交通情報の発信 災害時の交通機能の維持・余裕スペースの確保	
		待合機能 防災機能	タクシーの乗降機能 - 災害・豪雪時の防災機能			
	一般車	交通結節・ターミナル機能	一般車送迎機能・乗換機能	公共交通利用者・自動車利用者 //	公共交通利用者・自動車利用者 // 新たな移動需要 //	バス・タクシーと一般車の分離 駐車場の再編(移設・集約) 次世代モビリティサービスの導入(自動運転等) シェアリングモビリティサービスの導入(カーシェア)
		新たな交通サービス機能 シェアリング機能	駐車機能(駅利用・送迎) - -			
その他交通機関	乗換の利便性機能 (自転車・レンタサイクル レンタカー等のパーソナルモビリティ)	駐輪場との近接機能 レンタサイクルと乗換機能 レンタカーとの乗換機能	高校生など 来訪者・観光客 //	バス・タクシーと一般車の分離 駐車場の再編(移設・集約) 次世代モビリティサービスの導入(自動運転等) シェアリングモビリティサービスの導入(カーシェア)		
全般 (周辺交通)	交通の円滑化機能	- -	公共交通利用者・自動車利用者 //	MaaS環境整備(乗り継ぎの円滑化) 駅周辺道路の改良(交通渋滞・混雑の緩和)		
2.広場等	デッキ 広場	賑わい機能	-	若者世代・子育て世代 // 市民全般・麒麟のまち都市圏民 市民・来訪者・観光客	デッキ・平面広場等のオープンスペースの整備 オープンスペース・ベンチ等休憩施設の整備 一時避難場所、帰宅困難者の受け入れ 地下道の改良・ペDESTリアンデッキの整備 商店街との連携(共通クーポン・イベント) 次世代モビリティサービスの導入(小型・低速の自動運転等)	
		滞留機能 防災機能 回遊機能	- - -			
3.複合施設	公益施設	公益機能	文化的機能 子育て機能 福祉機能 イノベーション機能	若者世代(高校生など) 子育て世代 高齢者世代 起業家	文化施設 ※既存施設の再編・統合 子育て施設 福祉・介護施設 インキュベーション施設・観光・まちなかキャンパス・シェアオフィス	
		賑わい機能	商業(収益)機能 まちづくりマネジメント機能 情報案内機能	市民全般 行政・民間・大学・NPO等 市民・来訪者・観光客	スーパー・百貨店・コンビニ・カフェ・飲食 公民学連携によるまちづくりプラットフォーム 統合型情報発信施設の整備	
	民間施設	賑わい機能	商業(収益)機能 宿泊機能・居住機能 駐車機能(施設利用)	市民全般 市民・観光客 市民全般・来訪者	スーパー・百貨店・コンビニ・カフェ・飲食 マンション・ホテル 駐車場の再編(移設・集約)	

2-(2) 駅で育まれるワクワク～鳥取駅周辺で憩う人物像（ペルソナ）～

次の50年へ。未来創造ステーション
～ワクワクが止まらない、駅からはじまるミライのカタチ～

○若者や子育て世代など多様な市民や来訪者が、ワクワクを感じながら、駅に集い、楽しみ、語らい、過ごし、学び、考え、交流できる機能を整備し、鳥取に住む人を育て、鳥取に住みたいと思う人の流れを生みだし、循環し続けるミライを創造する。

ペルソナ① 地元高校生 10代

- ・鳥取バスターミナルから自転車に乗り換えて通学
- ・休日は家族や友達と郊外のイオンへ行く



- 駅で気軽に勉強したり休憩したりできる場所がない。
- 鳥取バスターミナルでバスを降りてから駐輪場までが遠く、毎朝不便に感じている。
- 学校帰りや休日に友達と遊びに出かける場所が少ない。

ペルソナ② ファミリー 親30代

- ・鳥取市に住んで子供2人を育てており、移動手段は基本的に自家用車。



- 休日は車で郊外の大型施設に出かけているが、距離が遠く、移動が負担になっている。
- 子どもを遊ばせる場所がいつも同じ場所で刺激がない。また、子育ての事について話せる知り合いを求めている。

ペルソナ③ 夫婦 60代

- ・大阪在住。夫婦での鳥取旅行。列車で来たので公共交通で鳥取を巡る。



- 鳥取を象徴する砂丘などのイメージが駅周辺になく、さみしい感じがした。
- お昼ご飯を食べたいが、商店街は閉まっている。
- 鳥取駅からバスに乗って砂丘に行きたいが、どのバス停から乗って、何時に出るのか分かりにくい。

次の50年へ。未来創造ステーション

～ワクワクが止まらない、駅からはじまるミライのカタチ～

- 駅前広場で子供を遊ばせたり、家族で食事をしたり、映画を見たり、休日は郊外から駅前や商店街で過ごすようになった。
- 車の移動距離も短くなって、移動がコンパクトになった。
- 複合施設内の子育て施設で知り合った同世代の親子と一緒に週末の駅前マルシェに参加するのが楽しみ。
- 駅周辺で遊んだ帰りは、図書館で本を借りたり、ウィンドウショッピングをして、親子で買物を楽しんでいる。



- 列車やバスの待ち時間や送迎を待つ間に、友達とベンチや駅前広場でおやつを食べながら語りあって過ごしている。
- 部活のない放課後は、商店街のカフェや駅近くの図書館で友達と一緒に勉強している。
- 列車と路線バス、自転車（駐輪場）の乗り換えがスムーズになり、通学の負担が減った。
- 休日は、友達と複合施設内で人気アーティストの美術展やコンサートを観たり、おしゃれなカフェでスイーツを食べたり青春を謳歌している。

- 駅を出ると鳥取を象徴するシンボルがあったので、久しぶりに夫婦で並んで写真を撮った。
- 駅のホテルに荷物を置き、昼食は観光案内所で案内ロボットにオススメしてもらった商店街のカレー屋さんへ行くことに。
- 砂丘行のバスの停留所と出発時刻が待合所ですぐに確認できたので、座って待ちながら旅行の予定を考える。
- 帰りの列車まで時間があつたので、駅の飲食店で地酒と旬の食材を満喫した。



ペルソナとは・・・マーケティング分野においてサービスを提供する仮想的な人物像のこと。

○鳥取の未来をけん引する人材が駅を拠点に集い、出会い、学び、交流し、活発なイノベーションを起こすことで、鳥取の魅力・磁力を高め、新たな人材を育むなど、さらなる好循環を創造する。

▼社会人同士の交流のイメージ
(起業しやすい、働きやすい環境がある)



例えば… 学生や若手社会人も まちづくりを学ぶ機会がある

○まちなかキャンパスで、複数校の学生や若い社会人、地域住民、自治体などが集まって**まちづくりWS (ワークショップ)**を行うなど、まちづくりを通じて様々な立場の交流の場を生みだしている

○まちなかキャンパスで、地域住民や学生・教職員が集い、**地元企業が講座を開催**してまちについて語り合う機会があるなど、若者世代のまちへの愛着を育む

▼まちづくりWSのイメージ (学生や社会人、自治体職員などさまざまな立場が参加)



例えば… 商店街や地元企業が 新たな商品売り出す 機会がある

○商店街や駅前広場で、定期的に**マルシェやイベントを開催**して、多様な人が集う機会を設けている

○チャレンジショップなどで、地元企業や他地域からも**新しい商品売り出す場**があり、新たな取り組みに挑戦しやすい

▼駅前マルシェのイメージ
(多様な人が集う機会・空間)



▼駅前マルシェのイメージ
(商店街や地元企業などが新たな取組にチャレンジする機会)



▲まちづくり講座のイメージ (まちの課題や解決策について学習する機会)



2-(3) 鳥取駅周辺再整備の基本方針（案）

○課題の解消や駅周辺で育まれるワクワクのイメージを踏まえ、鳥取駅周辺再整備の基本方針を以下のとおり設定する。

鳥取駅周辺再整備の基本方針（案）

(1) 集約型交通ターミナル機能の再編

- 鉄道、バス、タクシー、自家用車等の交通モード間の**乗換利便性が高い集約型交通ターミナル**の再編
- 将来的な**新たなモビリティ**など、**災害・豪雪等にも対応可能な交通結節点**を整備します。

(2) まちなかへ賑わいを滲み出す空間整備

- 若者や子育て世代が、**過ごしやすく、回遊しやすい人中心の滞留空間・歩行空間確保**に向けて、賑わい広場や歩行デッキ等の空間を整備します。

(3) 市民が集いたくなる利便施設・公共公益施設の整備

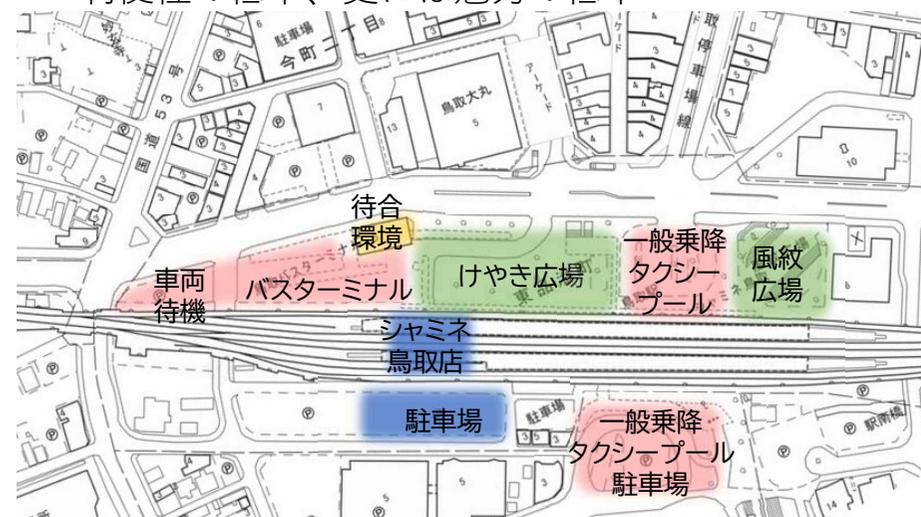
- JR・バス利用者等の公共交通利用者が**快適に過ごせる待合環境等の利便施設**や市民が日常的に駅に集うライフスタイルの創出を目指し、文化施設等の**公共公益施設を集約**します。

(4) 民間の誘導・整備による多機能な複合施設の整備

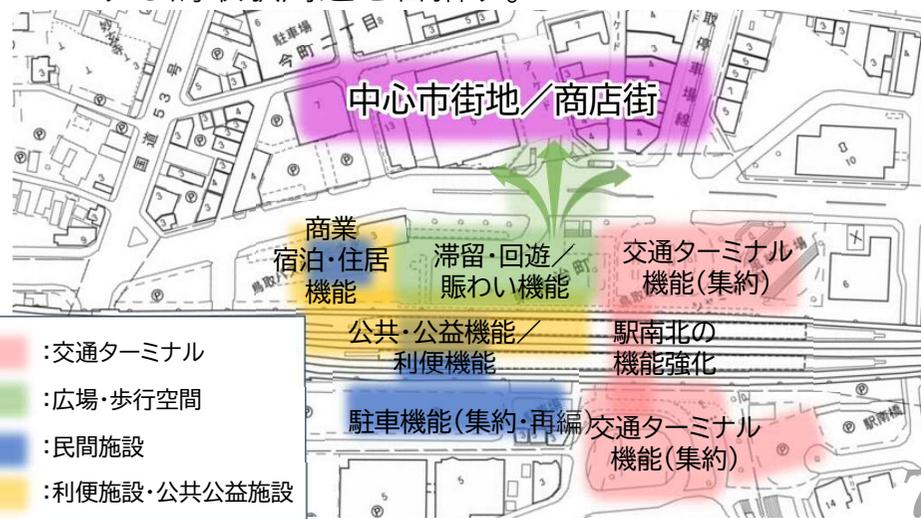
- 既存施設や商店街等との連携にも配慮しつつ、魅力ある商業機能、宿泊・住居機能、業務・イノベーション機能を備えた**民間施設整備の誘導など、複合施設の整備**を図ります。
- 民間投資を誘導するためには、**民間の有するノウハウや・資金力を最大限に活かしたPPP等の整備手法の活用**を検討します。

基本方針に基づく機能配置（ゾーニング）

【現状】 駅に求められる機能の分散や施設の老朽化など、利便性の低下、更には魅力の低下



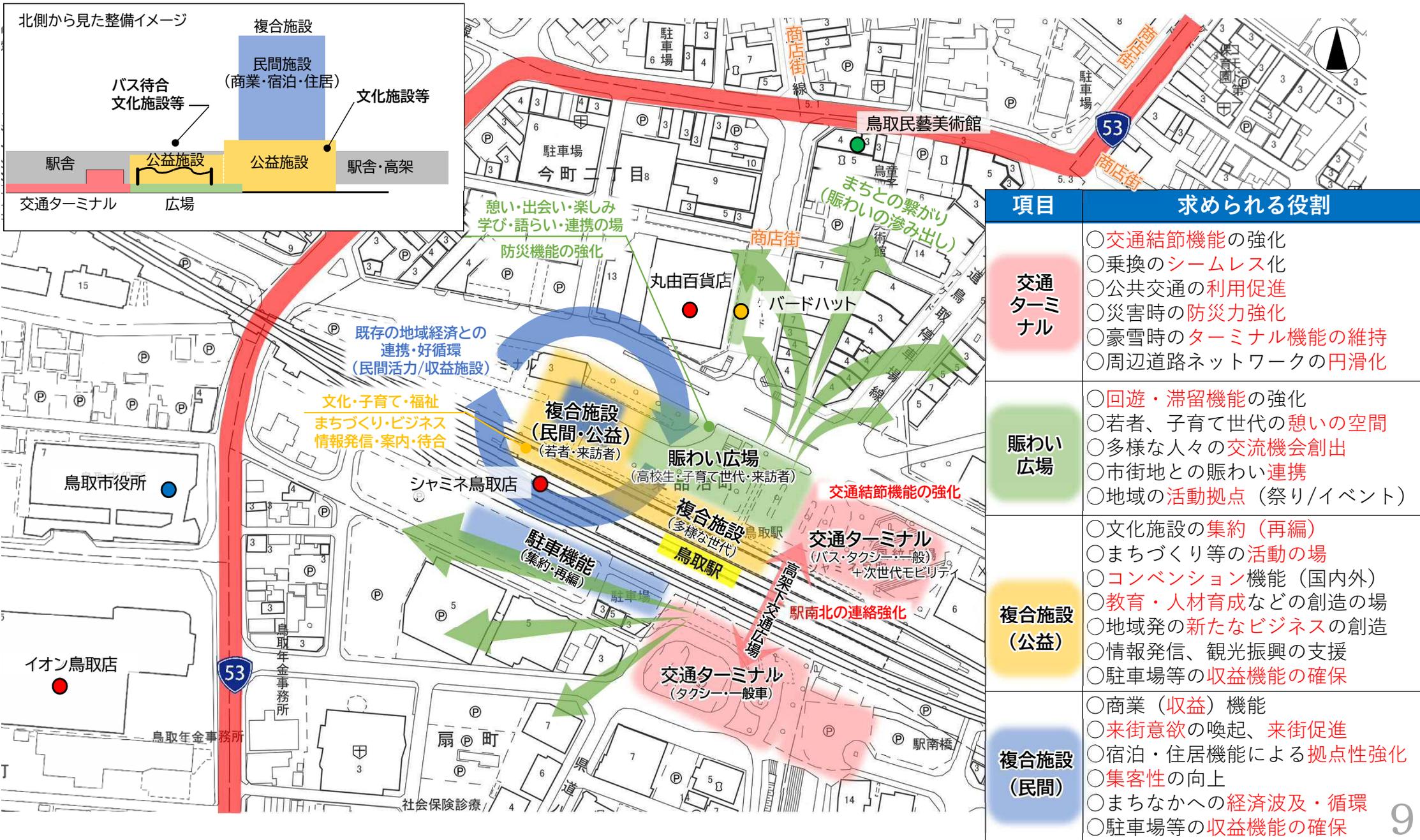
【将来】 交通ターミナル機能の強化や一体性を持った各種機能の集約により、歩いて楽しい、ワクワクする鳥取駅周辺を目指す。



- 凡例
- ：交通ターミナル
 - ：広場・歩行空間
 - ：民間施設
 - ：利便施設・公共公益施設

2-(4) 整備イメージ ② 駅に求められる役割

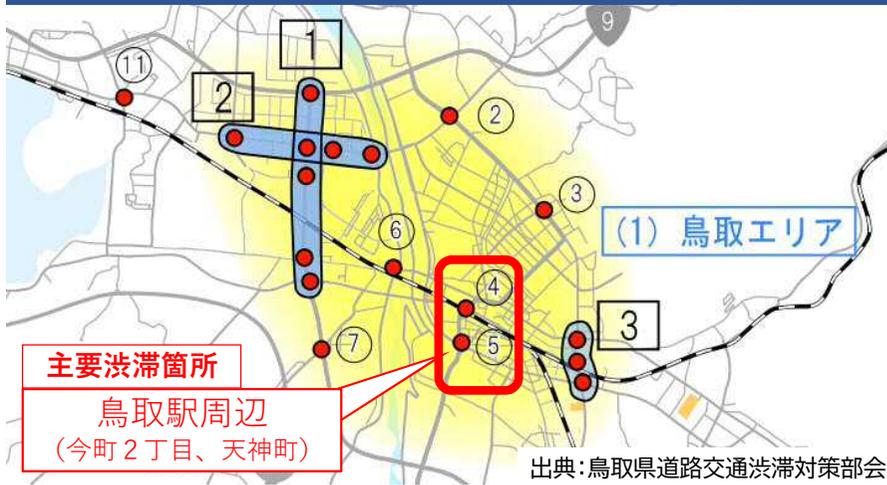
○衰退が進む鳥取駅周辺においては、市民や来訪者、事業者の活動・営みといった息吹が見える化されたまちづくりが必要であり、駅や周辺のまちなかを行き来する人の動きを感じられる機能やその配置を行う。



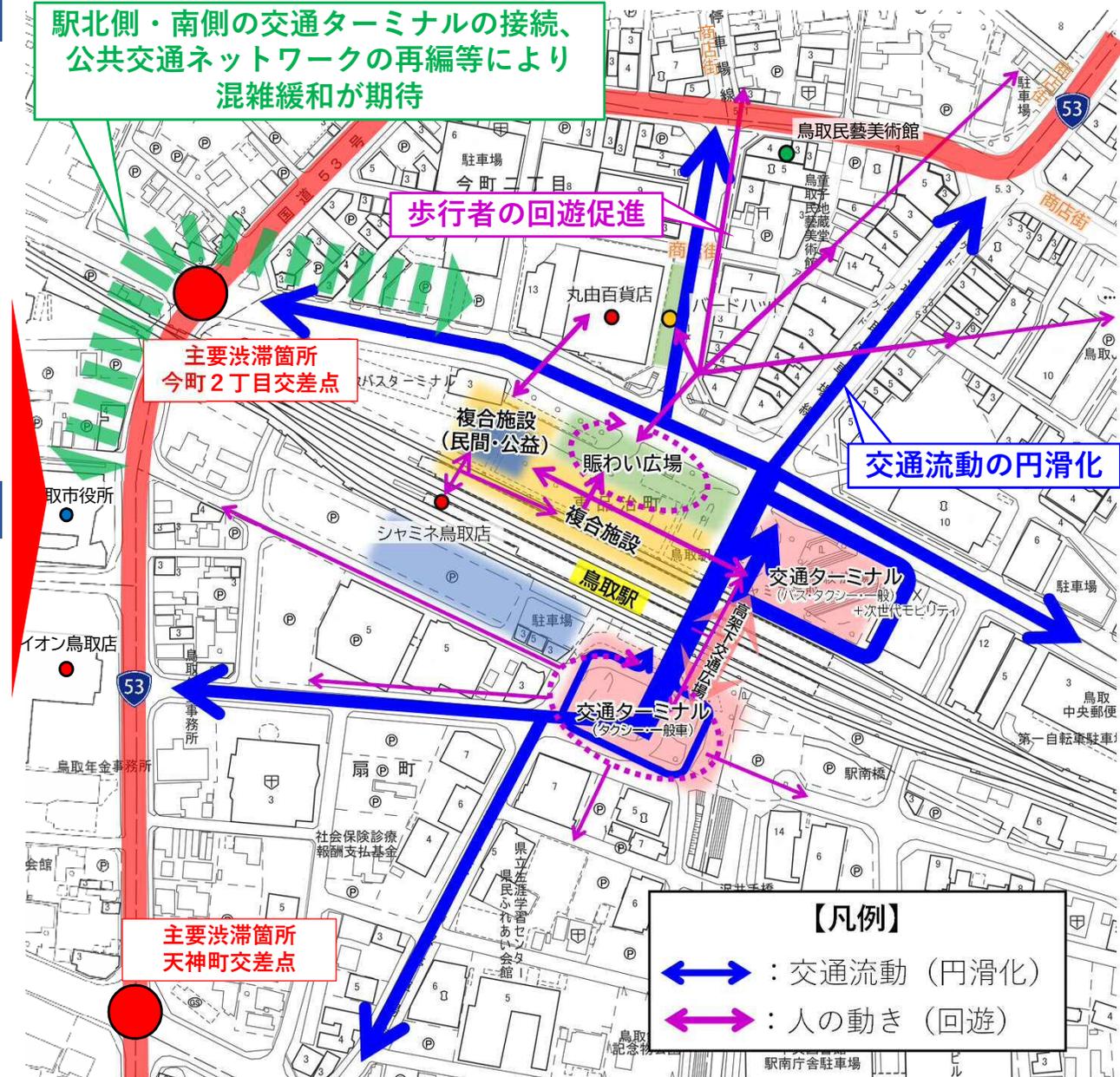
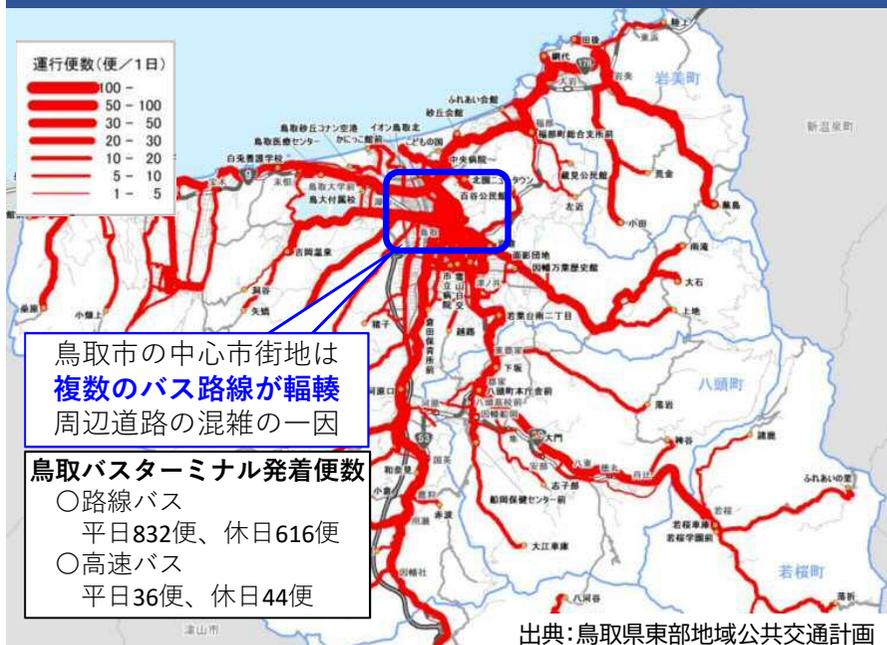
2-(4) 整備イメージ ③周辺交通の円滑化と回遊促進

○ターミナル機能の集約・高度化によって、周辺交通網の円滑化を図るとともに、駅周辺の既存のまちなかとの繋がりを重視し、駅及び周辺が歩いて楽しむことができる機能配置及び整備に取り組む。

鳥取県東部の主要渋滞箇所

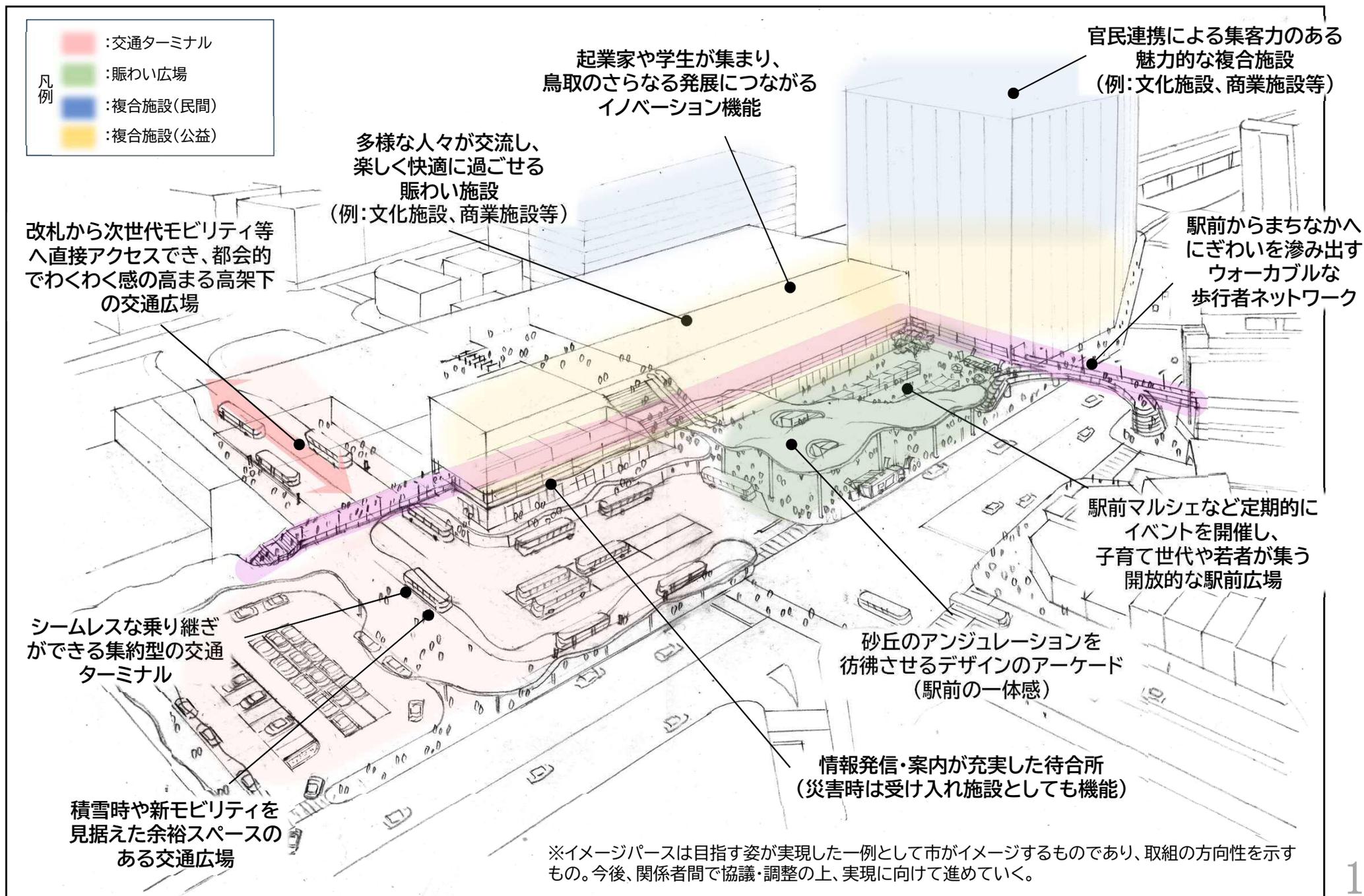


バスの区間別運行便数



2-(4) 整備イメージ ④イメージパース

○目指す将来像の実現に向けて、様々な人がワクワクする鳥取駅周辺の再生に取り組む。



○ペDESTロリアンデッキに関する積雪対策の事例をヒアリングにより把握した。

宮城県仙台市（仙台駅西口ペDESTロリアンデッキ）

面積が日本最大規模となるペDESTロリアンデッキ (S54年～57年整備)

- 積雪量 : - (うっすらと積もる程度)
- 積雪対策 : 通路部に積雪がある場合は指定管理者により凍結防止剤を撒き対応。
階段部にはロードヒーティングを設置。



山形県山形市（山形駅東口側ペDESTロリアンデッキ）

山形新幹線の乗り入れを機に東口にペDESTロリアンデッキを整備 (H14年整備)

- 積雪量 : 30cm前後
- 積雪対策 : 特になし
(通路からの落雪対策は手すりによって防止)

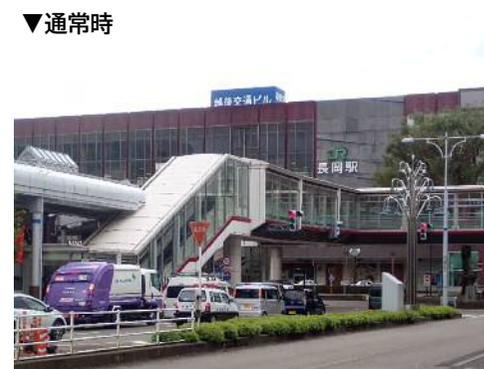


出典：やまがたバリアフリーMAPより

新潟県長岡市（長岡駅大手口ペDESTロリアンデッキ）

天候にかかわらず安心して快適に移動できる歩行者空間の確保 (H23年整備)

- 積雪量 : 1m前後
- 積雪対策 : 四方を囲われた屋根付きのデッキ整備
(全延長 : 301m、通路幅員 : 4m)
屋根部分には融雪用ヒーターを設置。



※公共交通の結節点である長岡駅の機能強化や周辺のバリアフリー化整備と合せ、雨の日や雪の日でも高齢者や障害のある方など、だれもが傘をさすことなく、安心して快適に通行できる歩行者空間を確保し、「福祉に優しい街づくり」を実現することを目的に整備されている。

○これまでの議論の内容は、下記の目次案のとおり、計画書として整理していく。

鳥取駅周辺再生基本計画 目次案

1. はじめに

- (1) 策定の目的
- (2) 計画の位置づけ
- (3) 計画の対象範囲

2. 鳥取駅周辺の特徴と課題

- (1) 鳥取駅周辺の特徴
- (2) 鳥取駅周辺の課題

3. 再整備のビジョン

- (1) 基本理念・目指す将来像について
- (2) 目指す将来像と込めるメッセージ

4. 再整備の方向性

- (1) 鳥取駅周辺再整備の基本方針
- (2) 整備イメージ
- (3) 基本方針別の取組内容について

5. 鳥取駅周辺の再生に向けて

- (1) 今後のスケジュール
- (2) 今後の検討課題

3-(1) スケジュール

年月	STEP1 構想段階 (鳥取駅周辺再生基本計画の作成)												STEP2 計画段階 (鳥取駅周辺再生整備計画の作成)																							
	R5年度									R6年度			R6～R7年度を予定																							
	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	R6 上期	R6 下期	R7 上期	R7 下期																				
駅周辺整備に関する計画の主な検討内容	<p>整備方針の検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ○地域の特徴及び課題等の整理 ○再整備の基本理念 ○再整備の方向性、基本方針 ○イメージ図の作成など 									<p>とりまとめ</p>			<p>←</p> <p>パブリック コメント</p> <p>→</p>		<p style="writing-mode: vertical-rl; color: red; font-weight: bold;">鳥取駅周辺再生基本計画 策定</p>												<p>各種調査の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ○関係者ニーズ調査 ○駅周辺交通量調査 ○サウンディング調査 など 				<p>具体イメージ検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ○交通ターミナルの配置検討 ○駅前広場のデザイン検討 など 		<p>管理運営の考え方</p> <ul style="list-style-type: none"> ○整備手法の検討 ○官民の役割分担 など 		<p>とりまとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> ○整備効果 ○計画のとりまとめ など 	
鳥取駅周辺リ・デザイン会議	●	●	●	●																							<p>-----></p> <p>専門チームでの勉強会</p>				<p>リ・デザイン会議</p>		<p>リ・デザイン会議</p>			
その他													<p>●</p> <p>市民フォーラム (8月予定)</p>				<p style="writing-mode: vertical-rl; color: red; font-weight: bold;">鳥取駅周辺再生整備計画 策定</p>																			

※現時点のスケジュールであり、今後の検討状況により変更する場合があります。